

関西電力大飯発電所3号機及び4号機に係る 特別な監視体制による監視状況の経過報告

平成24年8月3日

原子力安全・保安院

「特別な監視体制」の整備について(1/2)

1. 目的

○東京電力福島第一発電所事故後初の再起動となることを踏まえ、万が一事故が発生した場合の緊急対応に万全を期す観点から、特別な監視体制を整備することで、住民の「安全・安心」に万全を期す。

2. 具体的内容

○経済産業副大臣を責任者とする「常時監視・緊急対応体制」を編成し、大飯オフサイトセンターに設置。万が一の緊急時には、当該副大臣を原子力災害対策特別措置法に基づく現地対策本部長に充て、即応可能な体制。

<構成メンバー>

- ①牧野経済産業副大臣／中根経済産業大臣政務官
- ②原子力安全・保安院(原子力安全基盤機構を含む)
- ③関西電力
- ④プラントメーカー(三菱重工・三菱電機)
- ⑤福井県
- ⑥学識経験者

「特別な監視体制」の整備について(2/2)

- 各号機の原子炉起動から定格熱出力一定運転までの間など安全上重要な局面においては、経済産業副大臣または大臣政務官及び原子力安全・保安院の審議官が常駐し、また、検査担当の管理職(統括原子力保安検査官)を派遣。
- それ以外の局面でも、営業運転開始までの間、管理職級の原子力安全統括管理官(若狭担当)が大飯オフサイトセンター又は発電所内に常駐。発電所に派遣する検査要員に倍増。特に熱出力100%到達までは24時間中央制御室で監視。また、原子力安全基盤機構(JNES)からも検査要員を派遣。
- 大飯原子力発電所、大飯オフサイトセンター、関西電力(原子力事業本部)、原子力安全・保安院及び福井県庁との間のテレビ会議システムを常時接続。

3. 実施時期

平成24年6月16日から新規制機関発足まで

オフサイトセンターにおける監視体制(実績)

○オフサイトセンターにて監視活動に従事した人数(延べ人数)【6/16～8/1】

- ・原子力安全・保安院^(※) : 597名
- ・原子力安全基盤機構^(※) : 240名
- ・福井県 : 95名
- ・三菱重工/三菱電機 : 394名
- ・関西電力 : 1081名

＜合計＞ : 2407名 (約51名/日)

※発電所で検査・監視業務を行う検査官等を含む

○牧野副大臣、中根政務官による常駐

- ・牧野副大臣: 7月1日～9日(3号機)、7月18日～21日, 23日～25日(4号機)
- ・中根政務官: 7月21日～23日(4号機)

牧野副大臣による安全上重要な局面における立会等

- 牧野副大臣は、原子炉起動、臨界、送電開始(並列)、定格熱出力一定運転 到達時の4つの安全上重要な局面における現場の立会及び立会後のぶら下がり取材に対応
- 原子力安全・保安院等の検査官が24時間、発電所内に常駐しプラント状況等を常時監視

○大飯発電所3号機

- 7月 1日 21:00 原子炉起動
- 7月 2日 7:00 原子炉臨界
- 7月 5日 7:00 送電開始(並列)
- 7月 9日 1:00 定格熱出力一定
運転到達



起動時(3号)



臨界時(4号)

○大飯発電所4号機

- 7月18日 21:00 原子炉起動
- 7月19日 6:00 原子炉臨界
- 7月21日 7:00 送電開始(並列)
- 7月25日 1:00 定格熱出力一定
運転到達



送電開始(並列)時(4号)



定格熱出力到達時(3号)

広報・監視等の状況(1/2)

○プレス対応

- 毎日午前11時および午後4時から記者会見を実施
(牧野副大臣、中根政務官または黒木審議官)
- 原子炉起動、臨界、送電開始(並列)、定格熱出力一定運転到達時の4つの安全上重要な局面における立会後のぶら下がり取材への対応
- 牧野副大臣に対するテレビインタビュー取材(7月6日)
- 予期されていない警報等についても24時間迅速かつ丁寧



プレス会見

(参考)予期されていない警報等公表一覧(8月1日時点)

- 1.3号機の発電機冷却水タンクで警報が発生
- 2.送電線(50万ボルト)の状態を送信する電波の断続的な途絶
- 3.送電線(50万ボルト)の状態を送信する電波のとぎれ(4秒間)
- 4.特別高圧送電線開閉所で警報が発生
- 5.直流電源での異常を示す警報が発生
- 6.4号機の復水器のサンプリングポンプの異常を示す警報が発生
- 7.3号機で一次冷却材ポンプ等に係る警報が一時的に発生
- 8.3, 4号機で気体廃棄物処理設備に係る警報が発生
- 9.4号機で海水系除塵設備に係る警報が発生
- 10.モニタポスト(発電所敷地外)の異常を示す警報が発生
11. 3号機でクラゲ来襲による電気出力の低下
12. 4号機でタービン動主給水ポンプの試運転中に警報が発生
13. 第二大飯幹線1Lキャリアリレー故障に係る警報が発生
14. 大飯4号機加圧器逃しタンクに係る警報が発生
15. 大飯4号機非常用DGに係る警報が発生
16. 送電線への落雷による3号機の瞬時の出力変動
17. 大飯4号機において一次冷却材の温度を監視する警報が発生
18. 大飯4号機非常用DGに係る警報が発生

広報・監視等の状況(2/2)

○関係者との意見交換等

- 牧野副大臣、満田副知事、時岡町長(または副町長)、豊松関西電力事業本部長及びプラントメーカー役員等との意見交換(7月4日、9日、19日)
- 牧野副大臣によるおおい町議会議員との懇談(7月4日)
- 牧野副大臣による報道関係者との懇談(7月4日、20日)



TV会議

○視察

- 牧野副大臣による視察

大飯発電所3, 4号機(6月18日)、
運転シミュレータによる発電機並列操作、全電源喪失時操作の確認(7月3日)

関西電力能力開発センター・原子力研修センター(7月7日)

- 中根政務官による視察

運転シミュレータによる発電機並列操作、全電源喪失時操作の確認(7月22日)

大飯発電所3, 4号機(7月23日)



タービン建屋視察

○特別な監視体制に係る今後の対応について

大飯発電所3, 4号機について、引き続き、着実な監視を継続的に実施する。今回、得られた経験やノウハウを新規規制機関にしっかりと引き継いでいく。